

Information4

だんだんと暖かくなり春を迎えようとしています。

虫が増え目につくことも多々あるのではないのでしょうか…

春の予防シーズンスタートの合図です！

そして今回は、“**フィラリア症**”についてのお話です。

<フィラリア症って…>



フィラリア=蚊 **死に至る**寄生虫です。

私たちが夏によく刺される蚊のことです。

フィラリア症は寄生虫であるフィラリア幼虫が蚊を媒介し

動物の血液を吸った際に体内に入り込み感染します。

脱皮し成長を繰り返すと血液の流れに乗って全身を巡ります。

最終的に肺動脈・心臓に寄生します。

症状が出てからだと手遅れになる可能性があります。



初期症状

無症状
時々咳
運動を嫌がる

中期症状

咳の増加
元気ない
食欲低下
毛づやが悪くなる

重症症状

・腹水 ・持続的な咳
・呼吸が苦しそう
・運動後の失神
・嘔吐、喀血

急性期症状

虚脱
呼吸困難
血尿
貧血で粘膜蒼白

<予防方法>



薬の種類はかなり豊富で、動物さんに合った薬を選ぶのがコツ！


悩んだら一緒に考えますのでご相談ください。

⇒オールインワン **おすすめ!**


1つのお薬で幅広く予防が可能

フィラリア・ノミ・ダニ・お腹の虫下しなど

犬：嗜好性の高いお肉タイプ 

猫：首の後ろに垂らす液体タイプ 

⇒錠剤

シンプルな錠剤 

フィラリアの予防のみ可能

犬・猫・フェレットで処方


⇒お肉

犬で処方する嗜好性の高いお肉タイプ 

フィラリア・お腹の虫下しが可能

与えやすいのが特徴

⇒液体

首の後ろに垂らすタイプ 

フィラリア・ノミ・耳ダニなど

犬・猫・フェレットで処方



当院では **4月～12月**の予防をお勧めしています。

なぜか…薬は**予防薬**ではなく**駆除薬**だからです！

一度感染したフィラリアの虫をお薬を飲むことによって駆除します。

寒くなった冬、蚊が居ないからと忘れがちですが

その**最後の予防薬**が**かなり重要**になってきます。

毎月1回の飼主様の予防意識で守れる病気です。

